



ひとり親家庭サポート地域拠点強化事業
～ひとり親家庭が地域とつながる本と笑顔の居場所プロジェクト～



休眠預金活用・助成申請団体募集

助成説明会

2024年3月28日（木）
10時～11時

認定NPO法人ムラのミライ



本日の助成説明会の流れ

- 
- 1 団体紹介 P.3-5
 - 2 公募の背景 P.6-8
 - 3 助成対象となる事業・団体 P.9-14
 - 4 予算について P.15-16
 - 5 申請の手続き・審査など P.17-21
 - 6 採択～助成期間のこと P.22-23
 - 7 質疑応答 P.24

1. 団体紹介



【団体紹介】

「自分たちが考え、自分たちでやった。」と言えるように。
対話を通じて、当事者自身が納得のいく答えを一緒に導き出していく活動に取り組むNPOです。



セネガル：
ファーマーズスクール



厚生労働省委託・
地方自治体委託事業



兵庫県西宮市：
地域で助け合う子育て



国内：主催講座・講師派遣 /
海外：専門家派遣



インド：
おばちゃん信金



国際協力NGO向け：
伴走支援・講座・教材開発

法人設立：1993年4月1日

本部：兵庫県西宮市

場所・分野はさまざま

- ・場所：国内外、都市スラム、農村、セネガル、兵庫県西宮市など
- ・分野：国際協力、医療・福祉・子育て、子ども支援など

活動のこだわり

・ムラのミライは、メタファシリテーション手法(詳細は次頁)を活動のベースに、**当事者自身が納得のいく答えを導き出していく**ことにこだわりながら、人材育成や地域づくりに取り組んでいます。



【メタファシリテーション®とは？】

相手が一人で言語化できない状況（課題、経緯など）を、
一つひとつ事実質問で確認することで言語化サポートする



状況の解像度が上がることで、
相手が自ら課題に気づき、解決に向けた行動へ



言わせたいことを
言わせる技術

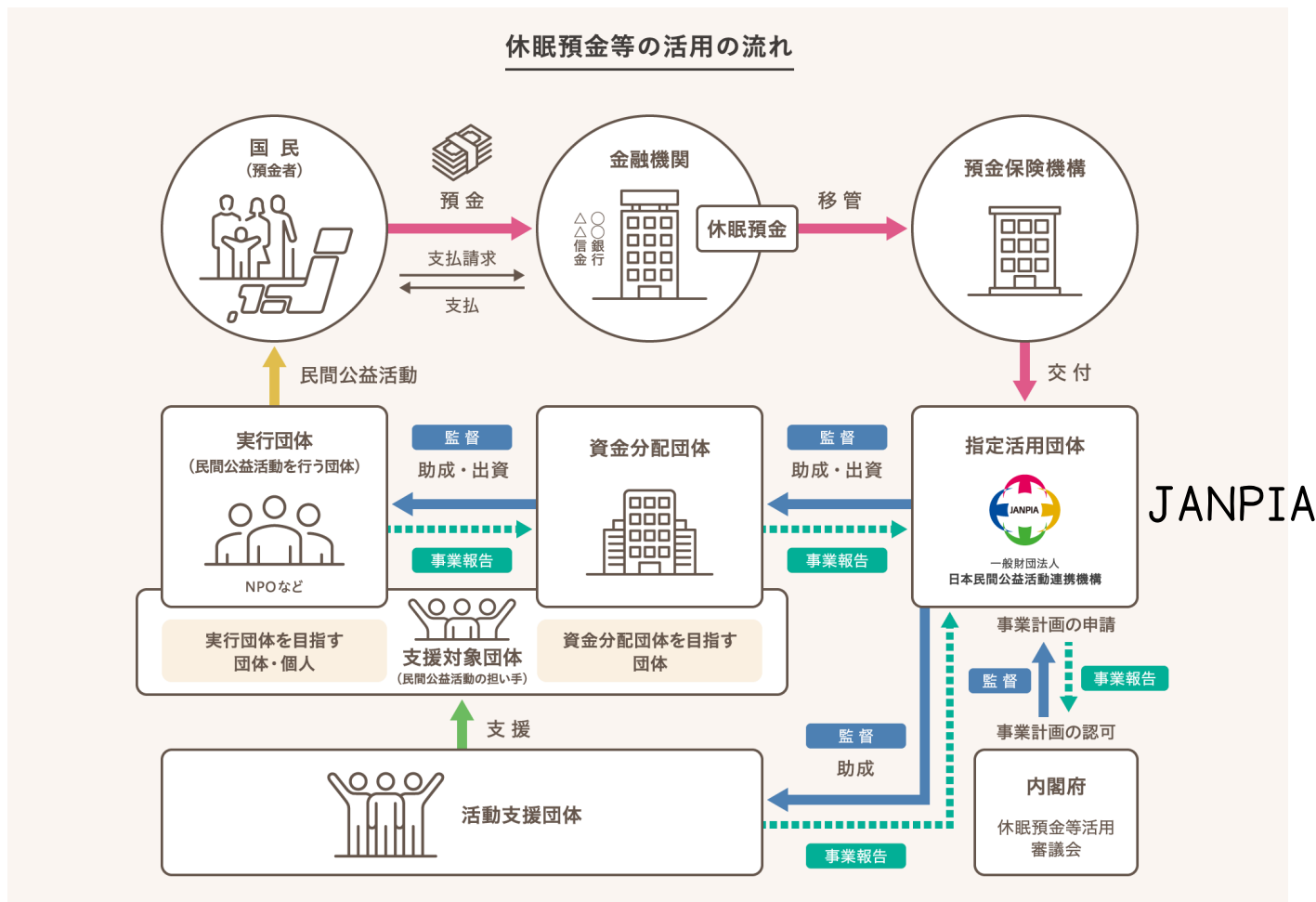


詳細はこちら

2.公募の背景



【休眠預金等活用事業について】



出典：一般社団法人 日本民間公益活動連携機構HP「休眠預金とは？」<https://www.janpia.or.jp/kyumin/>

事業種別：「原油価格・物価高騰、子育て及び新型コロナ対応支援枠」（緊急枠：単年度）



事業の背景

- ◆ **地域の子どもの居場所が不足**▶特に長期休暇とその前後で、ひとり親の経済的困難と精神的疲労の度合いが高まるにも関わらず、ひとり親家庭支援が不足
- ◆ **本のある居場所（地域の拠点の一つ）のひとり親家庭支援の知見や運営資金の不足**▶ひとり親家庭が立ち寄れる場所になっていない

（2023年当会によるひとり親家庭支援団体と民営の図書館運営者からの聞き取りより）

社会課題

ひとり親家庭が抱える3つの課題

- 経済的困難と精神的疲弊
- 安心して過ごせる居場所の不足
- ひとり親支援の人材不足

「いつも支援される存在」という負の感情でなく、プラス(+)**の気持ちで行ける居場所の存在が支援につながる機会を増やす**

<参照>

■ NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ（2023年9月）https://www.single-mama.com/topics/2023summer_survey/

■ 令和3年度 全国ひとり親世帯等調査結果報告（2021年11月）<https://x.gd/urzRg>

■ 全国のみんとしよ（2023年12月）<https://sancacu.org/library>



3.助成の対象となる事業・団体



【助成対象となる事業】

ひとり親家庭サポート地域拠点強化事業
～ひとり親家庭が地域とつながる本と笑顔の居場所プロジェクト～

●解決すべき社会の諸課題

- ①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
- ②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
- ⑦地域の働く場づくりや地域活性化などの課題解決に向けた取組の支援
- ⑧安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

●採択予定実行団体数： 5団体

●期間：2024年5月中旬（最短）～2025年2月末



【助成先団体に期待する活動内容】

- **本のある拠点とひとり親家庭支援の連携事業**
 - ・ ひとり親家庭が立ち寄ることができる、本のある拠点の整備
 - ・ ひとり親家庭向けの生活サポートや相談
 - ・ 子ども向けのイベント・ワークショップ
 - ・ 広報キャンペーンと地元イベントへの参加
- **ひとり親家庭支援の普及事業**
 - ・ 相談・連携のための支援者育成
 - ・ 連携・支援ガイドラインの作成・配布
 - ・ 他団体への活動成果報告会

【支援内容】

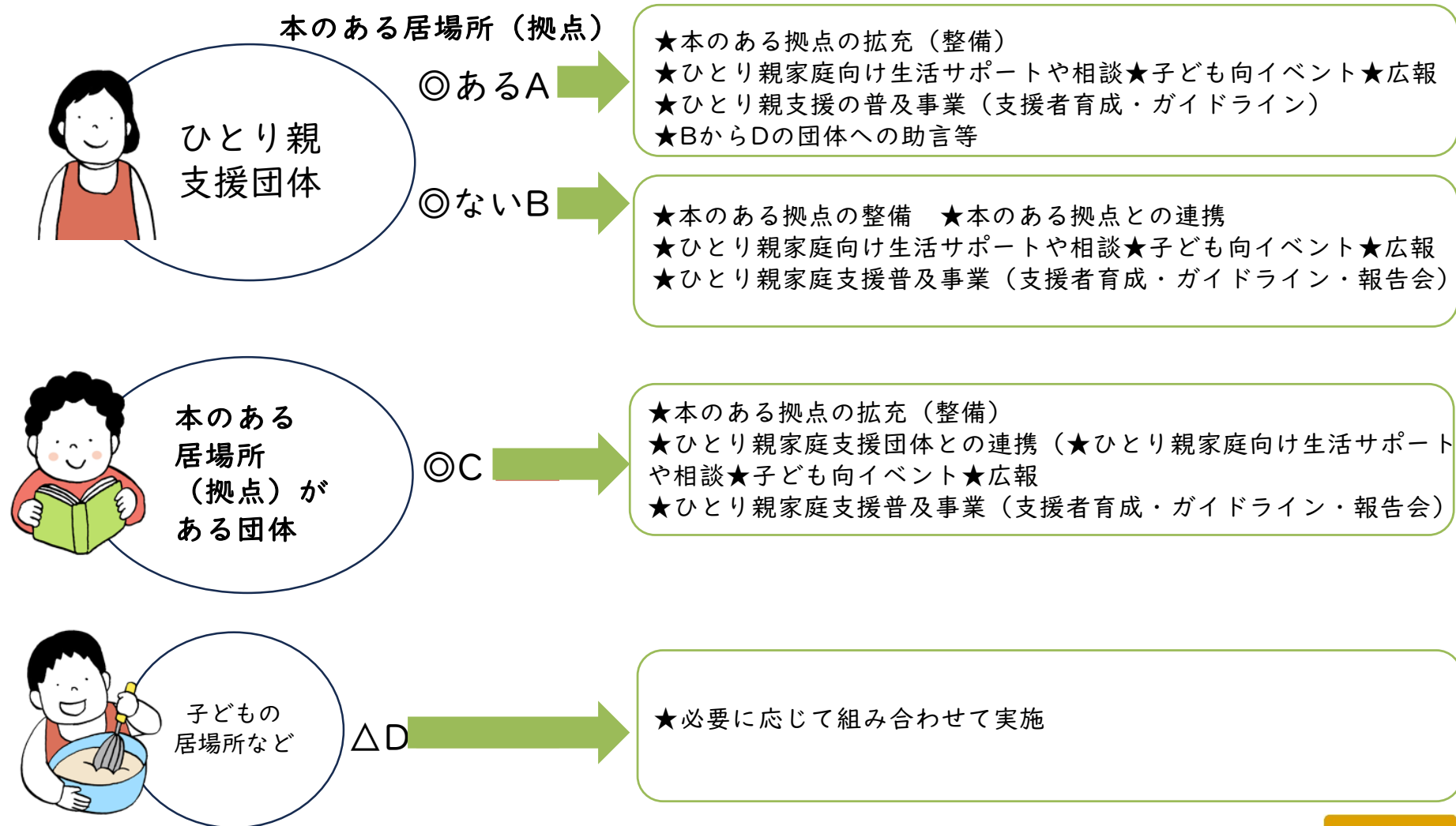


- ◆ **助成金の提供**
 - ・ 助成総額 4,800万円
 - ・ 採択団体数 5団体
 - ・ 1団体あたりの助成額 上限1,500万円
- ◆ **非資金的支援の提供(参照：スライドNo.14)**

【助成対象となる団体】

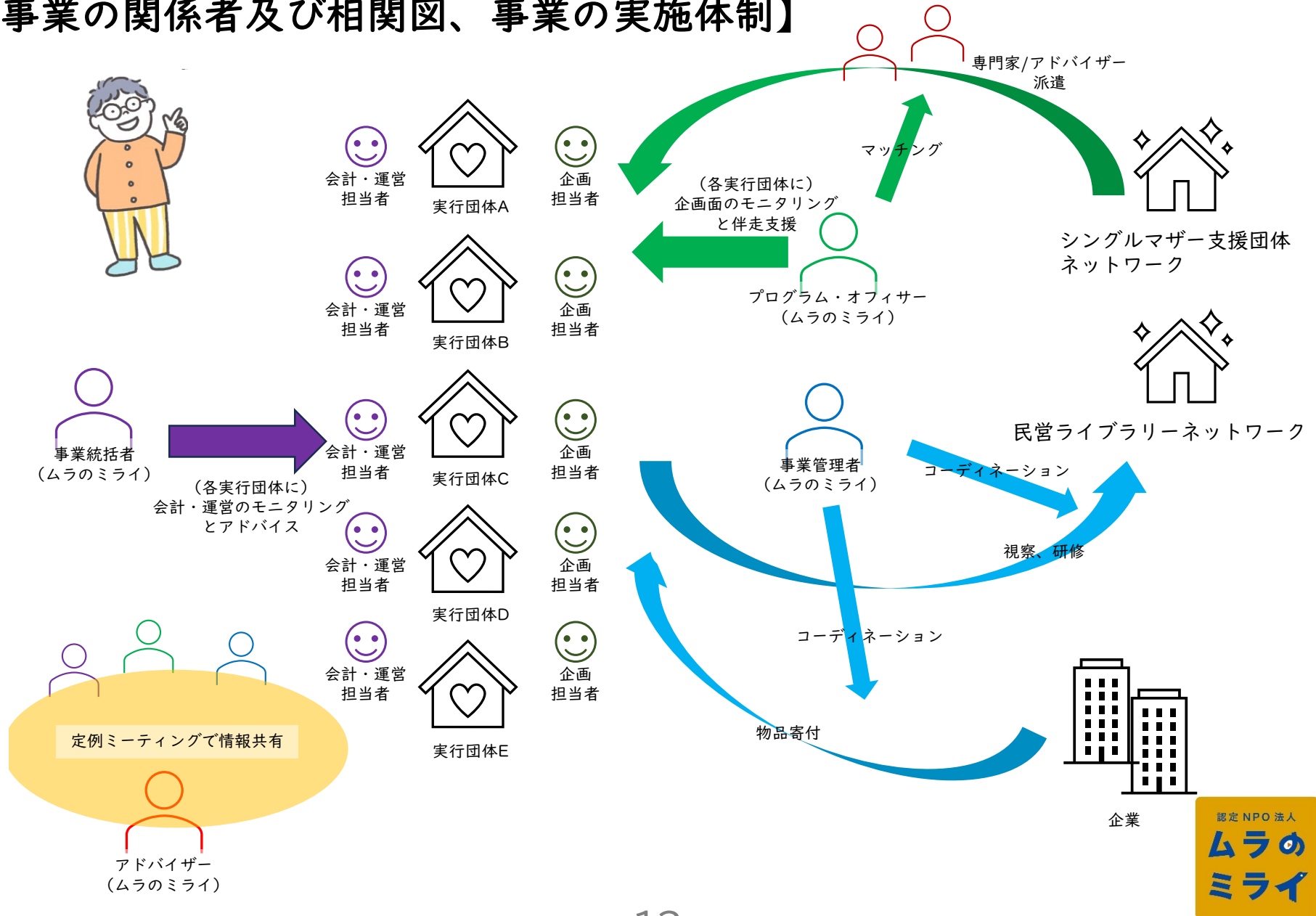
3.助成の対象となる事業・団体

- 助成の対象となる団体については、法人格の有無は問いませんが、ガバナンス・コンプライアンス体制を満たしている団体である必要があります。
- 申請事業の運営上の意思決定及び実施を2団体以上で行う場合、共同事業体（コンソーシアム）での申請も可能です。



3.助成の対象となる事業・団体

【事業の関係者及び相関図、事業の実施体制】



【ムラのミライによる非資金的支援】

助成対象団体の希望に応じて、下記のようなサポートを行います

- 拠点とする地域資源（本のある拠点とひとり親支援団体等の連携）リスト等を作成し、連携先団体/機関と情報共有サポート
- 業務フローの洗い出し/ノウハウの言語化と支援者（スタッフ）研修のコンテンツ作成/会計・報告システムの構築等サポート
- 本のある拠点の運営やひとり親支援に必要な研修の受講や講師・専門家の紹介
- 当事者の声を聴く技術（メタファシリテーション）講座

採択後－助成期間の伴走
支援（スライドNo.23）



4. 予算について



4. 予算について

【資金計画書等ワークシート「積算の内訳（明細入力）」】

資金計画書資料 ③積算の内訳（明細入力）		必須入力セル		任意入力セル		【記入時の注意】									
「直接事業費」「管理的経費」の調達金額の積算根拠として、会計科目別に予定した助成金申請の前提となる年度別の執行予定額を作成してください。														備考	
目的区分	会計科目	支出項目	PO人件費	値	単位	値	単位	値	単位	値	単位	値	単位	備考	
直接事業費	人件費	事業統括		30,000	11.00 カ月		0.40 按分			132,000				132,000	職員・週4従事により按分割合0.4(=2日/5日)
直接事業費	人件費	運営・広報		2,400	29.00 時間		5.00 月(回)			348,000				348,000	活動2-1.2-2 (運営・広報) 人件費
直接事業費	人件費	家事育児サポーター		2,400	4.00 時間		33.00 人回			316,800				316,800	活動1-2 家事育児サポーター (LJ,K3人分) 人件費
直接事業費	人件費	アルバイト		1,200	24.00 時間		10.50 月			302,400				302,400	活動1-2 学生アルバイトA 人件費
直接事業費	人件費	アルバイト		1,200	24.00 時間		10.50 月			302,400				302,400	活動1-2 学生アルバイトB 人件費
直接事業費	謝金	定期コンサルティング		15,000	2.00 回		1.00 人			30,000				30,000	活動1-2 臨床心理士 謝金
直接事業費	謝金	広報専門		30,000	3.00 回		1.00 人			90,000				90,000	活動1-4 報専門家 謝金
直接事業費	謝金	ガイドライン監修		30,000	1.00 回		1.00 人			30,000				30,000	活動2-2 ガイドライン監修 社会福祉士E,1名分謝金
直接事業費	国内交通費	〇〇訪問		1,500	3.00 回		2.00 人			9,000				9,000	活動2-1 研修参加時の交通費
直接事業費	施設改修費	エリアB改修		1,000,000	1.00 拠点					1,000,000				1,000,000	活動1-1 トイレ・エントランス修繕予定
直接事業費	機材・備品購入費	机・椅子、パソコン、図書架設用品		500,000	1.00 拠点					500,000				500,000	活動1-1にかかる図書館用本、本棚等、備品など
直接事業費	食料・物品購入費	食料・日用品		1,000	22.00 回		100.00 月			2,200,000				2,200,000	活動1-2 食料・日用品配布1,000円/人x100名x22回(月2回x11ヶ月)
直接事業費	研修費	外部研修参加費		30,000	5.00 回		3.00 人			450,000				450,000	活動2-1 研修(ひとり親支援者養成、図書館開設、子どもセーフガーディング)
直接事業費	委託費	ガイドライン制作		150,000	2.00 人					300,000				300,000	活動2-2にかかる制作委託費(編集・デザイン各1名)
直接事業費	印刷製本費	ガイドライン		50,000	1.00 式					50,000				50,000	活動2-2にかかる印刷製本費
管理的経費	人件費	会計・報告		2,400	24.00 時間		10.50 月			604,800				604,800	(会計) 人件費
管理的経費	家賃	ライブラリー		100,000	11.00 月		0.60 按分			660,000				660,000	家賃、他事業との按分0.6(拠点6日開設のうち週4日/6日)
管理的経費	支払手数料	振込手数料		550	22.00 回					12,100				12,100	委託先、購入先への銀行振込手数料
管理的経費	委託費	Web制作費		20,000	7.00 回					140,000				140,000	情報更新、公開、休眠預金紹介
管理的経費	通信費	郵送費		520	20.00 回					10,400				10,400	レターバックによる書類(ちらし)等郵送
										0				0	
										0				0	
										0				0	
										0				0	
										0				0	
										0				0	
										0				0	
										0				0	
										0				0	
										0				0	
										0				0	
										0				0	
										0				0	
										0				0	
										0				0	

【記入時の注意】会計科目
財務諸表作成目的で通常用
いている会計科目を使用して
ください。

【記入時の注意】単価
消費税込の整数を入力
してください。

【記入時の注意】
●目的区分(直接事業費・管理的経費)「積算の手引き」P.3
から4に記載があります。

【記入時の注意】備考
●各支出の補足事項を記載してください。
●人件費の場合は予定している担当者名(決
まっている場合)または役職・役割を記載して
ください。
●他事業との按分経費の場合、按分割合の
算出方法を記載してください。
●直接事業費の支出に関しては、事業計画書
と共通の活動1-1,1-2等をご記入ください。
●管理的経費への活動番号は必須ではあり
ません
●

● 「積算の手引き」ムラのミライHPでダウンロード
● 予算計上できる・できない費目など、詳細は
「積算の手引き」と個別相談で



5.申請の手続き・審査など





【公募説明会～内定通知まで】

公募説明会	3月28日（木）
個別相談会	3月30日（土）～4月12日（金）
公募締切	4月14日（日）23時59分
書類審査	4月15日～21日
面談お知らせ	4月22日（月）午後
面談	4月23日（火） 10時～12時または13時～15時 （1団体20分程度）
審査（最終）	4月24日（水）
審査結果	4月25日（木）

【申請時必要な書類一覧】

5.申請の手続き・審査など

様式1から7：ムラのミライHPでダウンロード



分類	申請書類		提出形式	単独申請	申請		備考
					幹事団体	構成団体	
申請事業ごとに提出する書類	様式1 助成申請書		PDF	●	●		※登録印の押印が必要
	様式2 事業計画書		Excel	●	●		
	様式3 資金計画書等		Excel	●	●		
	その他(計画の別添等)		任意	任意	任意	任意	
	様式4 コンソーシアムに関する誓約書		PDF		●		※幹事団体取りまとめのうえ提出
団体ごとに提出する申請書類	様式5 団体情報		Excel	●	●	●	
	様式6 役員名簿		Excel	●	●	●	※役員名簿はパスワード必須 ※パスワードは別途資金分配団体に提出
	様式7 ガバナンス・コンプライアンス体制現況確認書		Excel	●	●	●	※ガバナンス・コンプライアンス体制については、別添1参照
	定款		PDF	●	●	●	
	決算報告書類	貸借対照表		PDF	●	●	
損益計算書(活動計算書、正味財産増減計算書、収支計算書等)			PDF	●	●		



【審査について】

以下の選定基準に基づき選定を行います。

事業の妥当性	事業対象となる社会課題について、問題構造の把握が十分に行われており、事業対象グループ、事業設計、事業計画（課題の設定、目的、事業内容）が解決したい課題に対して妥当であるか
実行可能性	業務実施体制や計画、予算が適切か
ガバナンス・コンプライアンス	包括的支援プログラムに示す事業を適確かつ公正に実施できるガバナンス・コンプライアンス体制等を備えているか
継続性	助成終了後の計画（支援期間、出口戦略や工程等）が具体的かつ現実的か
先駆性（革新性）	社会の新しい価値の創造、仕組みづくりに寄与するか
波及効果	事業から得られた学びが組織や地域、分野を超えて社会課題の解決につながることを期待できるか
連携と対話	多様な関係者との協働、事業の準備段階から終了後までの体系的な対話が想定されているか

- 選定にあたっては、支援実施の緊急性に鑑み、申請事業の妥当性、実行可能性、ガバナンス・コンプライアンス体制の整備等の3点を重視。
- 団体の社会的信用や直近の財務状況等、助成事業の実績等も考慮したうえで、選定後速やかに適切な事業実施が可能と判断される団体を優先的に採択。



【審査（面談）について】

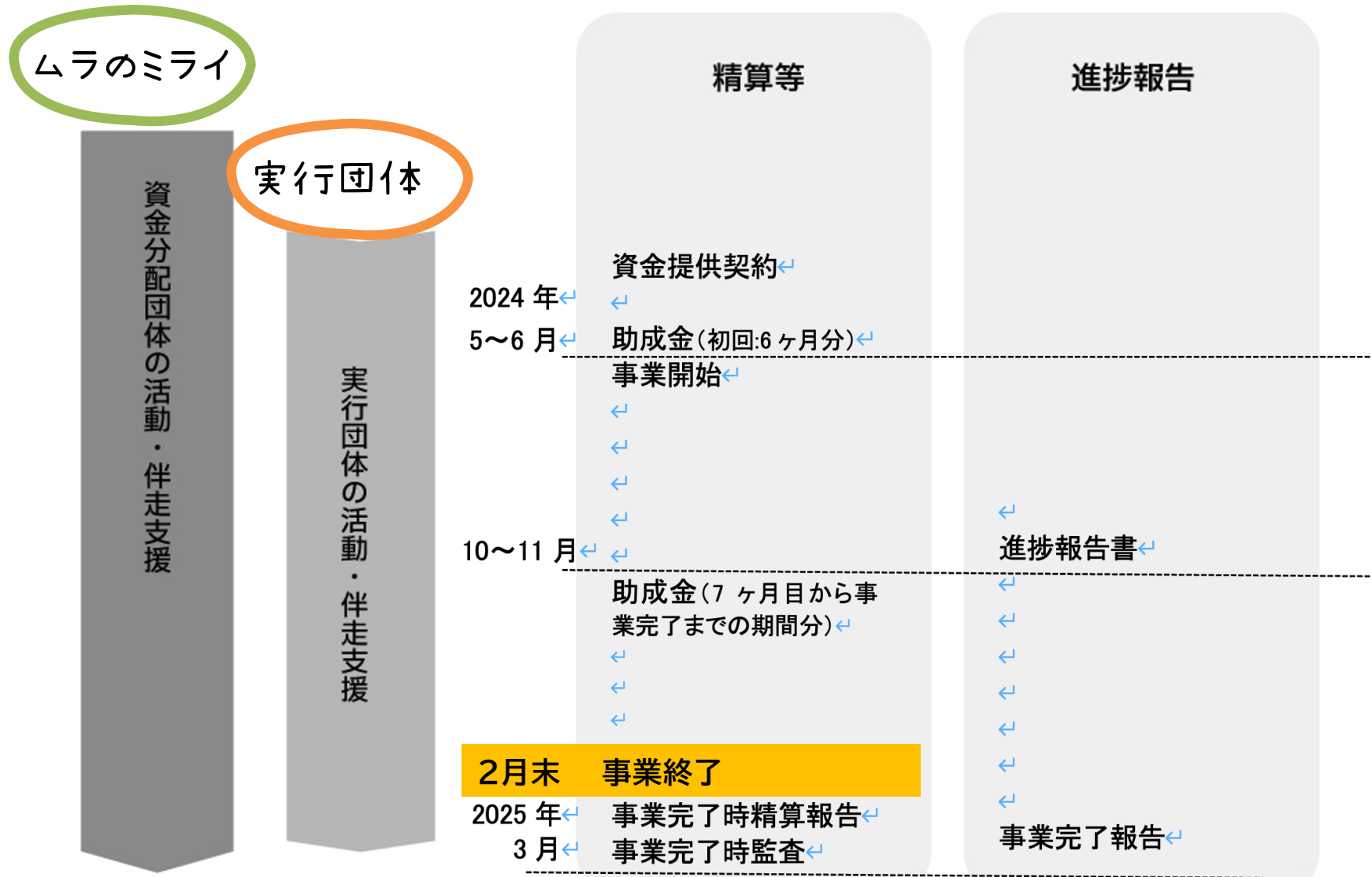
- 1団体20分程度です。
- 10分以内でプレゼンテーションをしてください。
- 審査で重視される点（前ページ）を中心に、発表していただければ、特に様式はありません。
- 審査結果はメールにて通知します。

公平で公正な選考を行うため、ひとり親家庭支援、子どもの居場所、本のある居場所（拠点）、NPO基盤整備支援の分野における外部有識者・専門家が審査にあたります。

6.採択～助成期間のこと



6.採択～助成期間のこと



7. 質疑応答



個別相談をご利用ください

3月30日（土）～4月12日（金）



個別相談お申し込みQRコード

<https://peatix.com/event/3890167>

相談会の前日までに
①応募予定事業の概要
②予算（概算）
をお送りください。





ご参加/ご視聴
ありがとうございました

